

第 19 回教育改革フォーラム 実施報告

「名市大のキャリア教育」から「キャリア教育の名市大」へ ～ 本学におけるキャリア教育の歩みとこれから ～

1 概要

「キャリア教育」をテーマに、第 19 回教育改革フォーラムを開催した。本フォーラムは、参加者にとって新たな「気づき」「発見」を提供し、結果としてキャリア教育に限らず全学的な教育改革推進に対する一層の関心を醸成する契機となることを意図したものである。

当日は、高等教育院 川合一郎講師より、本学におけるキャリア教育の歩みと今後の展望について講演が行われたほか、若者研究の第一人者である芝浦工業大学 原田曜平教授を招き、現代の若者の仕事観などを踏まえた講演をいただいた。

続く QA セッションでは、「Z 世代の特徴を踏まえ、現場ではどのように関わるべきか」など、多様な視点から活発な意見交換が行われ、参加者の理解を一層深める貴重な学びの場となった。

2 開催日時

2025 年 12 月 1 日(月) 15:00～16:30

3 開催方法

対面（名古屋市立大学 滝子キャンパス 1 号館 201 教室）、および オンライン（Zoom）

4 内容

(1) 挨拶： 理事（教育）・高等教育院長 伊藤 恭彦教授

(2) 司会進行： 高等教育院 松尾 美香准教授

(3) 講演：

① 「名市大のキャリア教育」から「キャリア教育の名市大」へ

～本学におけるキャリア教育の歩みとこれから～ 高等教育院 川合 一郎講師

② 最近の若者の仕事観とキャリア教育への示唆 芝浦工業大学 原田 曜平教授

(4) QA セッション： 松尾准教授、原田教授、川合講師

(5) 総括： キャリア支援センター長 高石 鉄雄教授

5 参加者

111 名（対面 88 名、オンライン 23 名）

【内訳】

区分	対面	オンライン
職員	48 名	8 名
教員	30 名	12 名
学生	10 名	3 名

6 実施風景

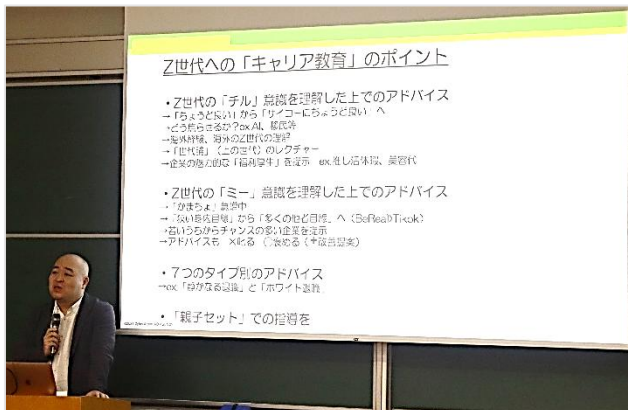
・伊藤理事 開会挨拶



・川合講師 ご講演の様子



・原田教授 ご講演の様子



・QAセッションの様子



・高石教授 総括挨拶



7 アンケート結果（一部抜粋）

回答者 77 名（アンケート実施方法 Microsoft Forms にて実施）

【内訳】

区分	人数
職員	41 名
教員	25 名
学生	11 名

○以下の項目について、どの程度満足しましたか？

本フォーラム全体について

- | | |
|-------------------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> とても満足した | 72.7% |
| <input type="checkbox"/> やや満足した | 19.5% |
| <input type="checkbox"/> どちらともいえない | 5.2% |
| <input type="checkbox"/> あまり満足しなかった | 2.6% |
| <input type="checkbox"/> 全く満足しなかった | 0% |

○本フォーラムについて当てはまるものを選んでください。

- | | |
|---|-------|
| <input type="checkbox"/> 学ぶものがあつた | 36.0% |
| <input type="checkbox"/> 視野が広がった | 20.0% |
| <input type="checkbox"/> 刺激を受けた | 19.0% |
| <input type="checkbox"/> 自身の職務・学修・研究等に役立つヒントが得られた | 17.0% |
| <input type="checkbox"/> 自身のキャリア開発に役立つヒントが得られた | 6.0% |
| <input type="checkbox"/> いずれにもあてはまらない | 1.0% |
| <input type="checkbox"/> その他 | 1.0% |

○次回の教育改革フォーラムにも参加したいと思いますか？

- | | |
|------------------------------------|-------|
| <input type="checkbox"/> そう思う | 71.0% |
| <input type="checkbox"/> どちらともいえない | 25.0% |
| <input type="checkbox"/> そう思わない | 3.0% |
| <input type="checkbox"/> その他 | 1.0% |

○自身の所属での教育改善・業務改善（学生は教育・研究活動）に活用できそうな内容や、新たな気づき、感想などがありましたらご記入ください。

・Z 世代の性質について、大学全体として理解が足りないことを再認識した。

・低学年からキャリア支援を行う部署にありますが、マイナビという社名を背負って活動をすることで「就活を早期化させるな」という声を頂くこともあります。そうではなく、川合先生の仰るように、「自分で立つために、気づきや発見を提供する場」を提供できるように、引き続き一緒に考えさせて頂けますと幸いです。

- ・学生の指導において、「おとなしい」「ぜんぜん質問に来ない」「がつがつしていない」「飲み会や遊びに誘ってくれない」といった漠然とした不満を持っていましたが、原田先生のご講演（特に、Z世代を7つのクラスターに分類したお話）を伺って、この不満の原因がよりクリアに理解できるようになった気がします。また、川合先生のご講演のなかで、「社会に媚びないキャリア教育」というフレーズが印象に残りました。企業に就職することだけを重視すると、大学が職業訓練校のようなものになってしまうと思います。そうではなく、やはり日本の最高教育機関としての矜持を持ち、「スキルのある子供」を輩出するのではなく、きちんと「大人」になれるように指導することが大事だと、ご講演を伺って改めて思いました。
- ・自分にとっては当たり前の価値観が、Z世代以外では本当にもっていないものなのだと、とても衝撃を受けました。お互いの世代の価値観の違いを埋めるためにも、上の世代の価値観について知っていく必要性を感じました。
- ・研究において、成果を出すために必要な能力と、学生の実力に大きな乖離がある場合でも、ダメなところを率直に指摘せず、褒めて改善提案してアゲて実験させる必要があるとわかりました。意識が変わるか、実力が上がるまでが大変ですが、それまでは、やるべきことをこちらで指示してテクニシャンでもいいと割り切りながら、研究を進めるのが成果を出すうえでの最適解と感じました。また、そもそもある程度の実力のある子や自分軸をもつ心の強い子を研究室に集めることが研究成果を出すうえでは、重要な要素の一つと感じました。
- ・これまでの学生と、Z世代とは大きく特性が異なることがよくわかった。今日のような内容は、すべての教員が研修などで把握すべき内容と考える。
- ・学生支援をサポートする立場からして、目から鱗の情報も、再確認できる内容と、盛りだくさんでした。今後学生に寄り添ったご支援ができるように尽力させていただきます。
- ・就職が決まった4年生が低学年に就職について話す機会があると良いと思いました！
- ・所属で学生に直接かかる機会はほとんどないが、年齢は他の職員よりも学生に近いと思うので、学生に負けないように、自らの業務・キャリア形成についても、より広い視点を持たなければならないとおもった。
- ・附属病院では、新卒採用者が配属されることが多々あります。一緒に働いていくにあたり、お互いが気持ちよく働けるよう若い世代の事を知りたいと思い参加いたしました。大変参考になりました。
- ・教員－学生での取り組みと、学生－学生での取り組みを再認識した。分野によって力を入れる学年は異なるように思うが、早めに意識することは重要であると感じました。

○本フォーラムについて、良かった点、あるいは改善を望む点があればご記入ください。

- ・オンライン参加をすることで、同じく Z 世代の友人と意見交換をしながら講義を受けることができ、とても満足しました。
- ・本学の教職員の講演、外部講師の講演、QA セッションという 3 部構成で、本学の状況と外部の状況を知ることができたので良いと思いました。ZOOM の画面表示や運営に一工夫が施されていて見やすいと思いました。
- ・もう少し時間があっても良かったかもしれない。(もう少し聞きたいくらいがちょうど良いのかもしれないが。)
- ・その分野で有名になっていたり進んだ研究をしていらっしゃる方を呼んでいたこと。また、そのような方がする話は興味深いので他にも教職員のみならず学生にも開放されたセミナーやフォーラムをいくつか開催してほしいと思った。
- ・質疑応答はフォームからだけでなく、直接口頭でも出来ると良いと思った。(フォームだと、特にスマホからは長い文章が打てない)
- ・本学のキャリア教育の方向性について、よく理解できなかった。現状をどのように発展させるのか、あるいは、現状とは全く異なる方向に進むべきなのか、もっと時間をとって説明して欲しかったと思います。
- ・もっと学生が参加するように盛り上げられたら良かったと思う。時間が 4 限と 5 限にまたがっており、参加しづらかった。
- ・このような有意義な教育改革、FD を、全教員にいかに意識させるかが課題であると感じる。

以上